

老舗企業から学ぶ永続性の条件
成果につなげる「個の力の発揮」と「チーム IQ」
グラスティ メールマガジン

【今号のテーマ】

グラスティが提唱する「チーム IQ (職場力)」第 1 回
WEB サイト http://www.grasty.jp/



株式会社グラスティは、企業の永続性をテーマに、「チーム力の発揮」や「成果を生み出す個の力の発揮」を実践して成果につなげるお手伝いをお客様との協働プロジェクトで取り組む会社です。

* 詳細はこちらから → <http://www.grasty.jp/service.html#service01>

さらに、「老舗企業の CRE (Corporate Real Estate) のお手伝いも行っています。

* 詳細はこちらから → http://www.grasty.jp/business_e.html

※このメールは、グラスティの平林、鳥屋、山下、斎藤、根津がお名刺を交換させていただいた皆様、小社セミナーにお申込をいただいた皆様にお送りしております。

~~~~~

平素より大変お世話になっております。  
小社メールマガジンをご覧ください誠にありがとうございます。  
代表の平林です。

さて、今号より小社で取り組む「チーム IQ (職場力)」についてご紹介してまいります。

.....  
.....  
グラスティが提唱する「チーム IQ (職場力)」(第 1 回)  
.....  
.....

小社は設立以来、老舗企業の特徴でもある「イノベーション」に着目し、その原動力は「人」、実現するための力は「チーム力」であると考え、「チーム力」の研究を行ってきました。

【「チーム」とは何か】

小社では、その定義を「個人の能力の総和を超える、集合的作業成果を生み出す場合にのみ、その集団を『チーム』とよぶ。共通の目的、達成目標、アプローチに合意し、その達成を誓い、互いに責任を分担する、補完的な技術を持つ少人数の人々からなる組織」(少人数とは 5 名~20 名程度)と置いています。また、このチームはプロジェクトチームというような、一時的な組織ではなく日常の職場そのものであると考えています。

このチーム(職場)は、成果を求められます。では、「成果を出すチーム(職場)」とはどのようなものでしょうか?

チームの研究を続けていくと、チームとして成果を生み出すためには、以下の要素が必要なことがわかってきました。

- メンバーの合意と信頼を形成したうえで自発的行動を促す
- 個人が自らの責務とメンバー相互の責任を果たす
- 仕事を通じて、個々の得意分野をさらに伸ばし、高いレベルでお互いに影響しあう

その結果、個々の成果は各人のベストを超え、チームの成果が個人の成果の総和を大きく上回るようになるのです。

また、「成果を生み出すチーム」には以下の特徴が見られます。

- チームメンバー間の強力な信頼基盤(尊敬・相互信頼)
- お互いの話しを聞き、お互いに有益なフィードバックを与え、個人の能力が開発されていく、調和の取れた仕事環境

- チームメンバーが関連情報にアクセスできるオープンコミュニケーション
- チームの中で創造性を刺激するリーダーの存在

こうしたチームには、【個人の力を伸ばし】、【相乗効果を生み出す】

「組織能力」があると考え、その組織能力を「チーム IQ (Teams Intelligence Quotient) (=職場力)」と呼ぶことにしました。

さらに、変化の激しい時代だからこそ、【組織能力を高め】、【継続していくこと】がチーム IQ (職場力) には求められると考えています。

そこで、小社では「チーム IQ (職場力)」を以下の4つの領域に整理しました。

(1) 【チームとしての力を発揮させる仕組み】

個の力をチームの力に変えて、発揮し、成果につなげる活動にする仕組みをビルドインして活性化する

(2) 【個の力が成長し、成果につながる仕組み】

問題を創出し、改善するための仕組みを創り、運用することが自社の仕事の型として埋め込まれている

(3) 【リーダーシップの発揮】

「個の成長」を支援し成果につなげ、「チーム力」を高め続けていくために、リーダーシップを発揮する

(4) 【仕組みを機能させる制度】

「個の成長」を支援し、「チーム力」を高めるための制度作りと運用

さらに、「チーム IQ」を高める上で、「相互信頼」「オープンコミュニケーション」が重要と考え、上記の領域(1)【チームとしての力を発揮させる仕組み】と領域(3)【リーダーシップの発揮】における IQ (Intelligence Quotient) を「頭脳知性」と「感情知性」の2つの側面から見ていくことにしました。

次回から、4つの領域と2つの側面を中心に、小社が取り組む「チーム IQ を向上して、成果につなげる」取り組みについてご紹介していきたいと思います。

=====

発行・編集：株式会社 グラスティ

<http://www.grasty.jp//>

E-Mail : [magazine@grasty.jp](mailto:magazine@grasty.jp) 担当：仲野・五味

-----

<<< 配信停止のご案内 >>>

メールの配信停止は、このメールの本文に「停止」とご記入の上、そのままご返信ください。